

「統合の場所」の考え方

□「千葉市学校適正配置実施方針」（平成19年10月策定）

Ⅲ 統合に伴う教育環境の整備

2 学校施設・設備の整備

- ①施設・設備面において、機能的に新設校と同等程度の整備を実施する。
- ②大規模改修を基本として、リニューアルを実施する。
(教室のリニューアル、エレベーターの設置等)
- ③耐用年数等により、大規模改修では対応できない校舎については、改築を検討する。

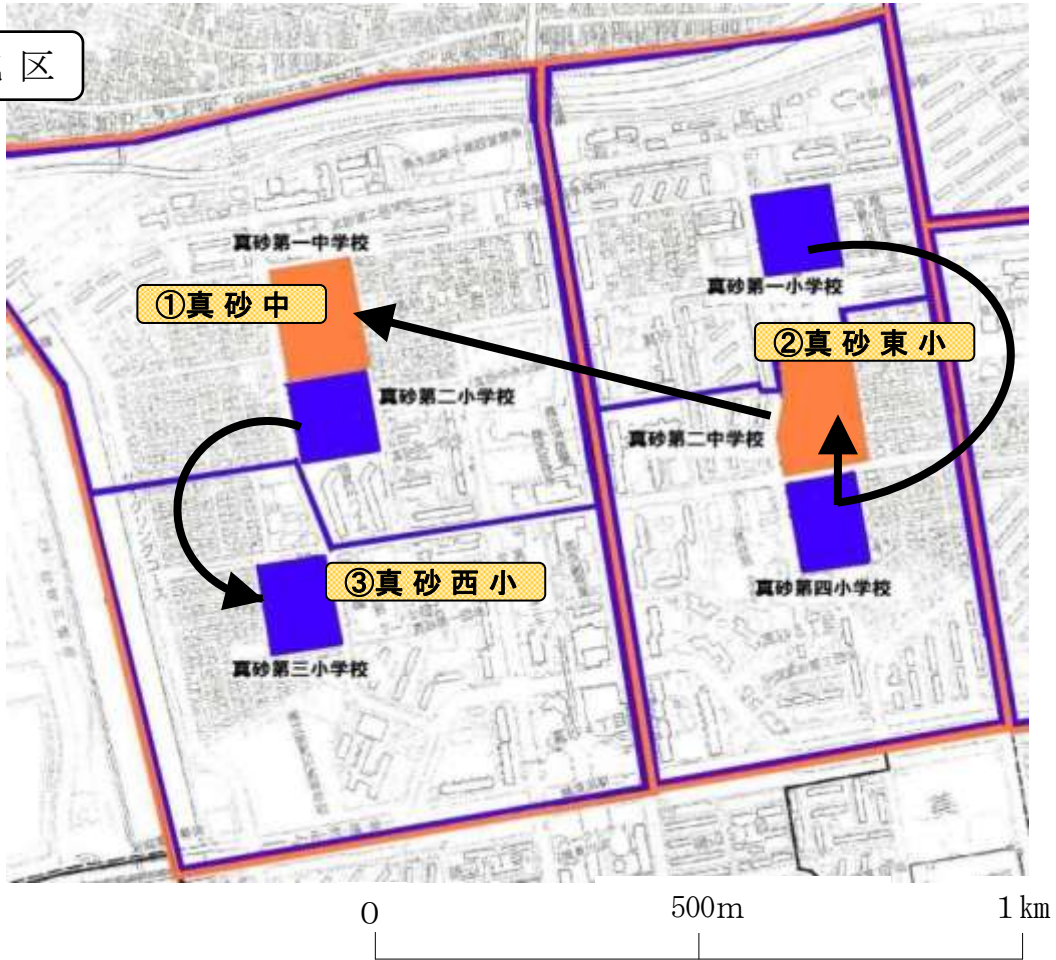
□先行地区における「統合の場所」の選定

該当校	統合新設校名	統合新設校の場所	選 定 理 由	仮校舎
真砂第一中	真砂中	真砂第一中 (右地図①)	・隣接する小学校跡施設（真砂第二小の校庭・体育館）を活用できる。 ・校庭が整備され、水はけが良い。	真砂第二中
真砂第二中				約1年半
真砂第一小	真砂東小	真砂第二中 (右地図②)	・真砂第一小と第四小の中間にあり、どちらからも通学が容易である。 ・体育館が広く、地域活動にも至便である	真砂第四小
真砂第四小				約2年半
真砂第二小	真砂西小	真砂第三小 (右地図③)	・校舎施設が既に改修済みの箇所が多く、きれいである。	真砂第二小
真砂第三小				1年
高洲第一小	高洲小	高洲第一小 (右地図④)	・高洲地区の学校配置のバランスを重視する。	高洲第二小
高洲第二小				約1年半
高浜第二小	高浜海浜小	高浜第三小 (右地図⑤)	・校舎の見通しが良く、職員室・校張室から校庭が見渡すことができる。 ・校舎施設が新基準で建てられており、耐震性が高い。	高浜第二小
高浜第三小				1年

※ 選定の考え方

- ・通学環境（距離や安全性）や学校施設状況（校舎・校庭の形状、教室数等）など、「子どもたちの教育環境」の視点から検討する。
- ・地域における学校配置のバランスや、地域コミュニティとの整合性等を勘案する。
- ・財政的な観点から既存の学校施設を有効活用する。

真砂地区



高洲・高浜地区

